

第17期シニア情報生活アドバイザー認定試験～生部試験官の挨拶



- 2面・「暮らしを彩るパソコン教室」  
新教室管理システムの運用状況  
・アドバイザー養成研修規定の制定  
・お知らせ
- 3面・パソコン豆知識・クイズ  
・ふれあい
- 4面・最近の活動から  
・総務担当より  
・編集後記



夏休みコース作品サンプル

### 夏休み親子コースを開催

夏休みのひと時、パソコンを使いながら親子でコミュニケーションを。「暮らしを彩るパソコン教室」のスタッフ会議でそんな趣旨の講座を企画した。過去何度か話題に上りながら実現の機会がなかった企画であるが、協働事業先の区生涯学習課に提案、教室拡大のためにもぜひ試行してみましよう、と理解をいただき、募集のための区報スペース確保にも尽力していただいた。

小学生とその保護者を対象にしてコースを2種類用意した。ひとつはキットを使っているうちわ作り。お子さんや保護者の写真を絵柄にしたオリジナルうちわである。うちわ型テンプレートに絵柄を印刷し、そこから型紙を剥がしてうちわの骨に貼り付ける。デジタル機器を使ったあと、手作業でアナログうちわを作る。省エネ要請の時代にもマッチしたコースである。

もう一つはカレンダー作りのコース。これもお子さん、保護者の写真を撮って絵柄に使うオリジナルカレンダー。といってもただ撮った写真を使うのではなく、ネットのモニタージュサイトを使って加工する。動物になったり、お札の顔になったり、雑誌の表紙になったり…。それを予め作ってあるカレンダーテンプレートに挿入し、印刷して出来上がり。

多くの参加者を期待したのだが、いつもとは少し毛色が違ったコースのためか、あるいは募集時期がずれたことも関係してか、うちわ作りは3組、カレンダー作りは1組の参加だった。

それでも二つのコースとも参加された親子にはたいへん好評で、面白く楽しんでもらえたようである。また、副産物として盆踊り大会でのうちわ作りの製作・販売も行われ、90本ほどの売り上げもあった。

子どもさんも相手なのでアドバイザーを配置する上でも普段と違った配慮が必要だったり、特にうちわ作りなどは事前に材料をどのくらい用意しておけばいいか悩むところでもあるが、こうしたことも経験を重ねていけば徐々に身についていくだろう。

私たちの活動は単にパソコン操作を教えることが目的でなく、パソコンを生活や仕事に役立つ手段や道具として使ってもらうことが趣旨なので、今回の試行経験を活かして、ものづくりを組み込んだワークショップ的な多様なコースもさらに企画・展開していければよいと考えている。

## 「暮らしを彩る。パソコン教室」 新教室管理システムの運用状況

前号でお知らせしたように6月からAccessソフトによる新しい教室管理システムの運用がスタートした。

運用に先立っては、制作者の佐藤会員を講師にアドバイザー研修会で操作方法を学んだり、会場責任者への説明会などを開催したりした。それだけでなく運用開始後半月間ほどは佐藤会員に事務所へ詰めつきりである当番の人へ実地指導を行ってもらったほか、電話による操作方法の問合せ、操作ミスによるデータ修復、操作性改良のためのソフト修正などでも多くの尽力をいただいた。



新しいシステムは、日々の応募状況、コース別受講状況のほか、講習会運営に必要な受講通知ほか、受講証、受講料振込み用紙、コース別受講者名簿などの印刷機能を備えている。また開講前確認連絡リストも自動的に作られるので、確実に運用することで日程忘れによる欠席防止に効果が期待できると思われる。

NAS（ネットワーク接続ストレージ）を利用して、いることも新しいシステムの特徴である。これにより会場やアドバイザーのパソコンからもリアルタイムの講習会応募状況などを把握できるほか、急遽増えた人の受講証印刷なども会場で簡単にできるようになった。もちろん外部からのアクセスは厳重なセキュリティ管理のもとで行っている。

アドバイザーの方々は一日も早く新しいシステムの操作や運用に慣れ、よりよい講座を運営していくためのツールとして存分に活用していただきたい。

なお、かちねつとのアドバイザー・コミュニに本システムのQ&Aトピックを作っているの、それも利用されたい。

### アドバイザー養成研修規定の制定

ユニコムかつしかでは、区との協働事業や受託事業等のパソコン教室活動を手広く行っているが、こうした活動には一定水準の講義品質や指導品質の確保が求められる。そのためにコース見学や研修参加などのステップを経て教室アドバイザーとなる仕組みを従来から設けていたが、アドバイザー希望者が増えてきたことから、新たに研修会数や評価基準を明確にした養成

研修規定を作成し、この6月から実施した。

現在、4名のアドバイザー希望者その規定に基づいて養成研修を行っている。ぜひアドバイザーとして要求される評価基準をクリアし、その後は実践の場を通じて受講者に信頼されるアドバイザーとして成長されることを願っている。

### お知らせ

#### ■シニア情報生活アドバイザー

第17期認定試験実施(7月21日)

次の3名の方が合格されました。

岡 真也様、久須美敏行様、百田 芳様

皆様、合格おめでとうございました。

今後の活躍を期待します。

#### ■亀有西五丁目町会盆踊り大会に参加

8月4、5日の盆踊り大会でうちわ製作・販売を行いました。ボランティア参加していただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

#### ■Adobeソフト勉強会終了

ご参加ありがとうございました。(4面参照)  
今後も幅広くテーマを取り上げて勉強会を開催しますので、その節は多数ご参加ください。

#### ●ユニコムかつしかへのお問合せは左記まで

Tel 03-6905-8080

FAX 03-6657-6185

E-mail [info@uc-knet](mailto:info@uc-knet)

Web Site <http://uc80.com>



# パソコン使ってますか？



## ■パソコン豆知識■

「Internet Explorer 9」が英語表示になってしまった時は、次のように対処します。

1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
2. 「Windows Update」画面が表示されます。画面左側の項目から「更新プログラムの確認」をクリックします。
3. 更新プログラムの確認が終わりましたら、利用可能な更新プログラムの情報が表示されます。
4. 「○○個のオプションの更新プログラムが利用可能です」をクリックします。
5. 「インストールする更新プログラムの選択」画面が表示されます。オプションの更新プログラムの一覧から「Windows 9」用「Windows Internet Explorer 9 言語パック」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックします。（○には使用しているOS名が入ります。）
6. 「Windows Update」画面に戻ります。「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックすると、更新プログラムのダウンロードとインストールを開始します。
7. インストールが終わると、「更新プログラムは正常にインストールされました。」と表示されます。「今すぐ再起動」ボタンをクリックします。
8. コンピューターが再起動しましたら、「Internet Explorer 9」を起動します。
9. ※「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」の順にクリックします。
7. 問題が解決されていることを確認していただく。以上で終了です。

## ■パソコンクイズ■

【問題】現在エクセルの「Sheet 1」で作業中です。「Sheet 2」へ移動したいのですが、マウスの調子が悪くて使えません。キーボードで移動操作をしたいと思いますが、正しい操作は何番の操作でしょうか。

1. Ctrl+Page Upを押す
  2. Shift+Page Upを押す
  3. Alt+Page Upを押す
  4. Ctrl+Page Downを押す
  5. Shift+Page Downを押す
  6. Alt+Page Downを押す
- (ただし、ノートPCの場合は「Fn」キーをプラスして操作する場合が多い)

◆会員以外の方も回答できます。

住所・氏名・年齢を明記の上、左記アドレスまでメールにてお送り下さい。

正解者の中から抽選で二名の方にUSBメモリーをプレゼント致します。

※切り8月25日 アドレス：peq@uc-knet

## ◆前回の問題と答◆

【問題】ウィンドウを閉じるとき、通常は右上の「閉じる」ボタンをクリックしますが、突然ウウスが使えなくなった時は、キーボードショートカットキーでウィンドウを閉じなくてはなりません。

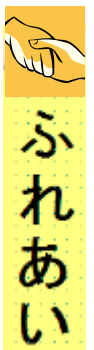
- 【方法1】「Alt」キー + 「F4」キーを押す。  
 【方法2】「Alt」キーと「スペース」キーを押してメニューが表示されたら「？」キーを押す。  
 さて「？」マークのところは、次のうちのどのキーを押したら良いでしょうか。
1. 「BACK SPACE」キー
  2. 「A」キー
  3. 「C」キー
  4. 「DEL」キー

【回答】3の「C」キーです。

## ◆当選者発表◆

正解者多数の中から抽選により次の二名の方にUSBメモリーを差し上げます。葛飾区鎌倉にお住まいの高木公完様おめでとうございます。

惜しくも抽選に外れた方は、次回のクイズに挑戦して下さい。ご応募お待ちしております。



ふれあい

この時季、我家のベランダは青々としたゴーヤの葉で覆われ、真夏の強い陽射しを心地よい柔らかな光へと変身させてくれます。

ゴーヤは、水をよく吸う植物です。その為、朝夕の水やりと、つるがきちんとネットに巻きつくように手助けするのが私の日課です。休日に、緑のカーテンの下で日々成長していくゴーヤを眺めていると、あつという間に時間が過ぎてしまうこともしばしば・・・。

春から夏にかけての短い期間の楽しみですが、私にとつてゴーヤとの「ふれあい」は、疲れた身体を安らぎで充たしてもらおう大切な癒しの時間。衣食住ならぬ、涼食充というところでしょうか。

では今日もまた手間暇かけて愛情たっぷり注いで我が子の面倒を見ることがしましょう。そして、夕飯には、大きく元気に育ってくれたゴーヤに感謝しながら、ひとつ食する事としましょう。

(大内佳世子)



緑のカーテン

# 最近の活動から

## ■ Adobeソフト勉強会

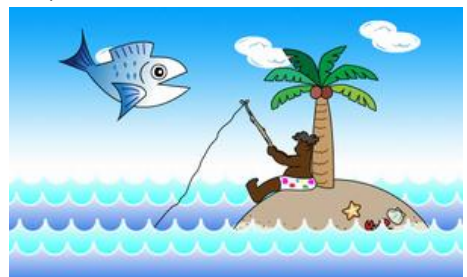
座間会員を講師にして Adobeソフトの勉強会が4月〜7月にかけて行われた。高価なソフトなので持っていない会員が殆ど。各自のPCに1か月間の体験版をインストールし、それを持ち込んだの勉強会となった。

最初は写真編集のフォトショップから。もともとマック系アプリなのでユーザーインターフェイスがかなり違う。しかも普段あまり馴染のないレイヤー構造は操作を呑み込むまでに時間がかかる。それでもスカイツリーの切り抜き、別の写真の空との合成、不要部分の塗りつぶしなどの基本操作をマスター。とはゆかず一人でやれと言われてもできない。初心者の気持ちがよくわかる。ウェブサイトで用いるボタン作りや文字入れも行ったが、言われたとおりにしてやっとなってきたというのが本当のところ。プロの扱うソフトは難しい。



次のイラストレーターでは、難しくて自在に操るまでには半年はかかるというペンツールの操作にも挑戦。この写真の輪郭をトレースしたが、講師のおだてに乗せられたいか、それなりにサマにはなっていたようだ。ただ、これとて繰り返し練習しなければとてもじゃないが身にはつかないことがよくわかった。

最後はフラッシュ。このあたりになると受講メンバーも少なくなってきた。それでも残ったメンバー全員、苦勞しながら講師の見本と同じアニメーション作品を何とか作り終えることができた。ちょうど体験版の期限も切れるところだったので今回の勉強会是一段落。



今回、事務所を利用した勉強会が久しぶりに行われたが、私たちアドバイザーは、講習会、プログラムを知っているだけでは不十分で、様々な質問や相談事に応えるためにも幅広い知識を日頃から蓄えておく必要がある。そのためには自己研鑽を基本としながら、組織としても外部研修やセミナーなどの紹介や派遣、会員相互の自主的な勉強会などを今後も積極的に計画・実施していきたいと考えている。

### 総務担当より

FAX (03) 6657-6185 は新しいレーザー・コピー機(兼プリンタ)で受信するように変更しました。これにより終業時はコピー機の電源は切らないでおいってください。

- ★事務所は会員活動の拠点、みんなの財産!
- ★事務所を清潔に、居心地のよい場所に!
- ★事務所当番にご協力よろしくお願いします。

### 会員募集中!

ユニコムかつしかはパソコンを活用した幅広い地域コミュニティ作りを目指しています。パソコンを教えたい人、習いたい人が共に勉強しています。パソコン指導者の養成や、個人レッスン、訪問サポートも行っています。お気軽にご相談ください。会員になると、個人レッスンが一般1時間1500円から会員1200円になるなど、割引料金になります。

### IT・パソコンのことならユニコムかつしかへ!

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■講習会</li> <li>・暮らしを彩るパソコン教室</li> <li>・たつみ憩い交流館講習会</li> <li>・ウェルビア講習会</li> <li>・白鳥福祉館講習会</li> <li>・えみふるPCサロン</li> <li>■地域SNSかちねっと</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■指導者養成講座</li> <li>・シニア情報生活アドバイザー</li> <li>■個人レッスン(於:事務所)</li> <li>■訪問サポート・訪問レッスン</li> <li>■Web・機関誌等制作支援</li> <li>■ユニコムかつしか交流教室</li> <li>■日商PC検定講座・試験実施</li> </ul> |
|--|--|

### 編集後記

ロンドンオリンピックが閉幕した。

日本は史上初や何十年ぶりのメダル獲得という競技が多かったという印象がある。

卓球の福原愛選手が「夢は叶うものですね。」とインタビューに答えていたが、そのような競技の選手達にとって、オリンピックのメダルは長い間、遠い夢だったに違いない。

夢を高く掲げ、あきらめない気持ちを持ち続けて日々努力を蓄積し、夢を実現したアスリート達からまた感動とたくさんパワーをもらった。(祐)